

この台本の記載は、本編音声とは一部内容が異なることがあります。」

【ローザB】ほら、いつまで休んでるの。四つん這いになりな。今度はアナルにオシオキするよ。

【ローザA】まだオシオキ続くんですかみたいな顔してないで、さっさと四つん這いになりな、ほら。

主人公、指示通り四つん這いになる。

【ローザB】もう開発済みなんだろう、ここ？ 太いのくわえ込んで放さなくなっちゃうんだろう？

【ローザA】はい、ゴム手。

【ローザB】ありがと。

ローザB、主人公の尻を右足で踏みつけながら手袋をはめる。

【ローザA】ローションをたら〜り〜り…ほら、これで準備OK。

【ローザB】さ、入れるわよ。まずは中指一本からね。ん…あらあら、するつて入っちゃった。ほら…吸い込まれるみたいに入っちゃったわよ。んふふっ。

【ローザB】今度は二本入れてみよっか、ほら。力…抜いてごらん。入ってく…あぁ〜やっぱ指二本でも簡単に入っていっちゃう。

【ローザA】お前のアナル、ガバガバの淫乱ケツマンコってわけね。いったい誰にこんなに拡げてもらったの？ ん？ それとも…自分でオナニーしながら拡げちゃったのかい？

主…じ、自分でやりました。

【ローザA】へえそう、自分でやったの。お前ときたらチンポだけじゃなくケツマンコでも快楽を追求しちゃう淫乱どスケベ野郎ってわけなのね。んふ…んふふふふっ。

主人公、いきなり声をあげる。

【ローザB】ほらここ……ここがいいんでしょ？ ほら……ほらほら……ほらほ
らほら……ほらほらほらほらほらほらっ。

【ローザB】体の奥から快感が突き抜けてくるような感覚……たっぷり味わうといいわ。ほおらっ。……あはっ、入口キュッキュツてすぼめたり拡げたりして……、ずいぶん気持ちよさそうだねえ？

2

【ローザＢ】んふふ……、指を出し入れしながら前立腺を刺激してあげる。こうされるとほら……たまないでしょ？　ねえ？　ほら……ほらほらほら……ほらほらほくら。

【ローザB】女の子みたいによがってごらん。ほら……、とってもいやらしくて、恥ずかしい声でよがりな？

【ローザ】恥ずかしいがることなんかないの。これまでで十分、恥ずかしい姿を私たちの前にさらしてきたんだもの。いまさら自分を取り繕ったってしかたないだろう？

【ローザB】ま、別に取り繕っても構わないけどね。無理矢理よがらせちゃうだけだから。ほら、ほらほらほら、ほらほらほらほらっ。

【ローザA】そうそう、そうやっていい声で泣くの。とってもかわいいよお前。とってもかわいくて……、とっても無様だ。くすくすくすくすつ。

【ローザB】前立腺だけで絶頂しちゃうようなスケベケツマンコに改造してあげようか、これ？ オスアクメでイキまくり状態になって、頭がおかしくなるくらい快感で、もうなにがなんだかわからない状態に……。

【ローザA】お前みたいなマゾブタなら、そんな風に調教するのは簡単だろうねえ。ほら、お返事してごらん。改造してほしいの、してほしいの。

主…し、してほしいです。お願いします。

【ローザA】そんなに言うっちゃって大丈夫？ 私たちにとっては簡単でも、お前は地獄の苦しみを味わうことになるんだよ。苦しくて苦しくて、つらくてつらくてどうしようもなくて……。

【ローザB】そこを乗り越えたところに最高の快樂があるのさ。お前みたいに根性のないマゾブタには無理だよ。諦めな。

【ローザA】それとも……私たちに根性見せてくれるの？ マゾブタはマゾブタなりに、一生懸命私たちの責めに耐えてみる勇氣……ある？ ん？

【ローザA】途中でのギブアップは絶対に認めないけど……いいね？ 泣きながら許しを乞うても認めないよ。

主…やります。がんばりますっ。

【ローザA】本当にいいんだね？ ……よし、わかった。お前のこと、地獄に突き落としてあげる。

【ローザB】まずはいったん指を抜いて……と。

【ローザA】ほら、こっちおいで。この台の上に上がりな。上がったらそのままじっとしてな。

【ローザB】ええと……、これ……がちょうどいいかな。台の上に取りつけて……と。

【ローザA】言ってごらん、お前の足元に何が立ってる？

主…デイルドです。

【ローザA】そう、デイルドだね。ローションがかかってぬるぬるになってる。

【ローザA】ただのデイルドじゃないよ。私のコレクションの中から、お前のケツマンコの形に一番合うものをチョイスしたの。この張り出した部分がお前の前立腺をぐりぐりと刺激してくれるよ。

【ローザB】お前はこれから、これに騎乗位で挿入するの。この真っ黒に光るオモチャのペニスでケツマンコを貫かれて、オスアクメに達するまで腰を振り続けるんだよ。

主…で、でも……。自分でですか？

【ローザA】ん？ ああ、そうだろうね。騎乗位なんてしたことないだろうね。一応お前は、オスなんだものね。だからなんだというの？ つべこべ言わずにほら、ケツマンコをペニスの先にあてがいな。

【ローザB】足を大きく開いて……、お前のケツマンコにペニスがずっぷりと入っていく様を……、んふふっ、しっかりと見せてごらん。

主人公、台の上にしゃがむような格好で挿入を始める。

【ローザA】ゆっくり……、お尻の力を抜いて……、んふ……少しずつ入れていきな。そう、そうだよ……。んふふふっ。

【ローザB】ふふ……苦しいかい？ でもまだ半分しか入ってないよ。あと一息……もう少し頑張っごらん。

【ローザA】あは……全部入った。入っちゃったよお前。ケツマンコ犯されちゃったよ。

主人公、苦しそうな、切なそうな表情を見せながら悶える。

【ローザB】もう腰をガクガクさせて……、前立腺の刺激……すごいだろ？　バ
イブのでっぱりで一番気持ちいいところがちょうどよく刺激されて……、うふふ
っ、たまらないみたいだねえ。

【ローザA】ほら、まずはゆっくりでいいから動いてごらん。

主人公、苦しくて自分では動けないと訴える。

【ローザB】なに、気持ちよすぎて足がしびれちゃうの？　へえ、よかったねえ。
……だからなんなのさ。命令に従えないなら、またムチで調教してあげようか？
ん？

主人公、ムチの恐怖におびえ、どうにかこうにか動こうとする。

【ローザA】そう……そうやってごちゃごちゃ言わずに最初から動いてればいい
んだよ。まったく、マゾブタってのは口ばかり達者で困るよ。人間以下の存在
のくせにさ。

5

【ローザB】どう、気持ちいい？　つらい？

二人のローザは苦しくも切なげな表情を浮かべながら腰を動かす主人公を左右か
ら挟み込み、その耳を犯して心理的に圧迫を加えていく。

【ローザA】おなかの中がはちきれそうで……苦しいんだろう？　でも……しび
れるような快感で全身が幸せになってしまってるんだろう？　ほら……もっと幸
せにしてやる。両耳……犯してやる。

【ローザA】腰……動かし続けな。

【ローザB】お前が快楽をむさぼる姿……見せてごらん。

【ローザA】いいわよお……もっと腰振りなさい。もっと悶えて。欲望のままに
腰を振って、あられない姿を見せてみなさい。

【ローザB】女の子みたいに腰を……体をくねらせながらケツマンコで感じるん
だよ。恥ずかしい声で泣き悶えて、私たちを楽しませてごらん。

主人公、だんだん苦しさよりも快樂の方が勝ってくる。どうすれば身体がきつくなり、どうすれば気持ちよくなれるかを次第に学習し、積極的に快樂をむさぼっていく。

【ローザA】くす……くすくす……。だんだん大胆になってきたねえ。恥ずかしさよりも気持ちよさの方がまさってきたんじゃないの？　ん？　こおのいやらしいマゾブタが。

【ローザB】うれしい？　うれしいかい？　自分のいやらしくて情けない姿を私たちに見てもらえてうれしいかい？

【ローザA】自分がどれだけ恥ずかしいことをしてるか……。お前、わかってる？

@3064/R05V

【ローザB】ふふ……うふふふつ。それどころじゃないよねえ。気持ちよくて気持ちよくてどうしようもないんだものねえ？　ああ、いやらしいマゾブタなこと。

【ローザA】ふふ……だんだんワケがわからなくなってきたみたいだね……。

【ローザB】騎乗位でケツマンコを犯されて……。自分で腰を振って……。もう気持ちよくなることしか頭にないみたいだねえ。このマゾブタは。

【ローザA】ほらもつといやらしい声で泣いてごらん。理性なんか捨てて快樂におぼれちゃいな。お前が泣きながら悶える様子……。じっくり見ててあげる。んふふふふつ。

【ローザB】とってもかわいいわよお。ほら、もっと悶えて……。もっと泣いてごらん？　ケツマンコにチンポズボズ入られて気持ちよくなっちゃうマゾブタの醜態……。もっと見せて？　ほら。

@3075/L05V/M15

【ローザA】んふふ……。どう？　私の言葉で心を犯されるの。気持ちいい？　ねえ？　私に服従させられるの……。気持ちいい？　ん？

主…ふあっ……。ふあい、気持ちいいれすう……。オマンコ気持ちいいれすう。

【ローザB】すっかり従順になっちゃって……んふふふっ。お前の心……徹底的になぶってあげる。なぶってなぶってなぶりまくって……絶対に私には勝てないんだって思い知らせて……、女性に屈服させられる喜びでお前の心……焼き尽くしてあげる。

【ローザA】お前の体も、お前の心も、もう全部私のもの。身体だけじゃなく心も犯されて、普通の人間なら耐えがたいような屈辱を受けているのに……、お前ときたら淫らに悶えて、泣き声をあげて……。

【ローザB】ほらもっと泣け。自分のみじめさをかみしめながら泣け。泣けば泣くほど……、お前の心は快感で真っ白になっていくの。だってお前は……、マゾなんだもの。んふふっ……んふふふふっ。

【ローザA】どうしたの？　だんだん切なそうな顔になってきたわよ。いきそうなの？　ん？　ケツマンコでオスアクメ迎えちゃうの？

@3086/R05V

【ローザB】いったりしないよね、まさか。ケツマンコだけでいくわけないわよねえ？

【ローザA】ケツマンコの中の、男が一番感じる部分をこれでもかかっていうくらい刺激されて……、もう意識飛びそうなくらい気持ちよくなってるんでしょ、ねえ？

主…ああああ、いきそうですっ。いっちゃういっちゃういっちゃううううっ。

【ローザB】そう、いっちゃうの。ケツマンコ犯されていっちゃうの。我慢しないでいいのよ。お前がオスアクメを迎えてアへ顔さらしちゃうところ……私たちに見せなさい。

【ローザA】ほら……いけ。いきな。アクメ迎えちゃいな。アンアン泣きながら……恥ずかしくいっちゃいな。

【ローザB】いけ……。ほら……いけいけいけ。真っ白になっちゃいな。ケツマンコ犯されて意識はじけさせちゃいな。

（絶頂）

【ローザA】んふふ……、いったね。

【ローザA】ほら、いつまで休んでるの。さっさとチンポ抜きな。自分をイかせたチンポ……名残惜しいかもしれないけどね。くすくすくすつ。

主人公、フラフラになりながら立ち上がり、台から降りる。

【ローザB】そんなに膝ガクガクさせて……よほど気持ちよかったんだねえ。もうお前の体……、完全にマゾブタに仕上がっちゃったよ。うふふふつ。

床にへたり込んだ主人公、涙目でもうムリですとローザに訴える。二人のローザは、そんな主人公を残酷な微笑を浮かべながら見下ろす。

【ローザA】もうヘロヘロでゆっくり休みたいて感じだろうけど……。残念ね、プレイ時間はまだまだ残ってるし、私はそんなに優しくないの。

【ローザB】これからまだまだたっぷり悶えてもらうわよ。もっともっとお前的心と体を責めぬいて……、極限まで追いつめてあげる。んふふ……うれしいですよ？